

Q. 鹿骨の農の風景を守っていくためにはどうしたらいいか？

考え方① 農家のちょっとした困りごとからスタートする

ex. 庭のみかんを収穫するのが大変

夏場の小松菜が成長しすぎて出荷に間に合わない

畑の草取りや掃除が追いつかない

▷ 区民が動くことで解決できるのではないかな？



考え方② 農家の困りごとのサポートを区民の「楽しみ」や「学び」に変える

ex. 収穫する喜びや楽しみ

農業・農家への理解や関心

こどもの成長

▷ 困りごとを「体験」や「イベント」にできないかな？



進め方① 「困りごと」を「プログラム化」する

(1) 農家の困りごとを把握し、蓄積させる（困りごとバンク）

季節ごとに小さなイベントを実施しながら、「この時期にこの農家はこういうことに困る」という感覚を養う

(2) 様々な団体と連携し、農家と区民を細かくつないでいく（中間支援組織）

ex. 人生大学、なごみの家、共育プラザ、農福連携、学校、幼稚園  
各々の団体の個性や強みを活かしてプログラムを考える

(3) 農家が参加しやすいプラットフォームをつくる

気軽に参加できる環境：ちょっとした困りごとを個別に対応  
みんなで参加できるイベント：一体感の醸成

(4) 小さく動ける推進チームをつくる

町会・行政と連携しながら、プログラムやイベントを企画・運営する  
地元愛を育む

進め方② プログラムに様々なステップを設える（色々な形で「農」にふれる。「農」を理解する。）

STEP① 知って食べる

地元の農業について知るきっかけを

看板／QRコード／スタンプラリー

紹介チラシ／小松菜カ（ライト版）

STEP② 話して食べる

農家さんと話して理解を深める

畑見学／規格外野菜の活用

加工品開発

STEP③ 採って食べる

自分で収穫してみる

収穫体験／フルーツ狩り／料理教室

畑紹介MAP

STEP④ 育てて食べる

自分で野菜を育ててみる

体験農園／ベランダガーデン／援農

農業スタッフ

□本日のワーク

①上の考え方&進め方の中で、重要だと思うポイントやキーワードを考えよう！

▷ グループ内でディスカッションしてみてください。

②鹿骨の農の風景を守るためのスローガンを考えよう！

▷ みなさんの想いや、ワークショップを通して感じたことを盛り込んでください。